

小田原市ハザードマップ

— 自分の命を災害から守る地図 —
Disaster prevention hazard map

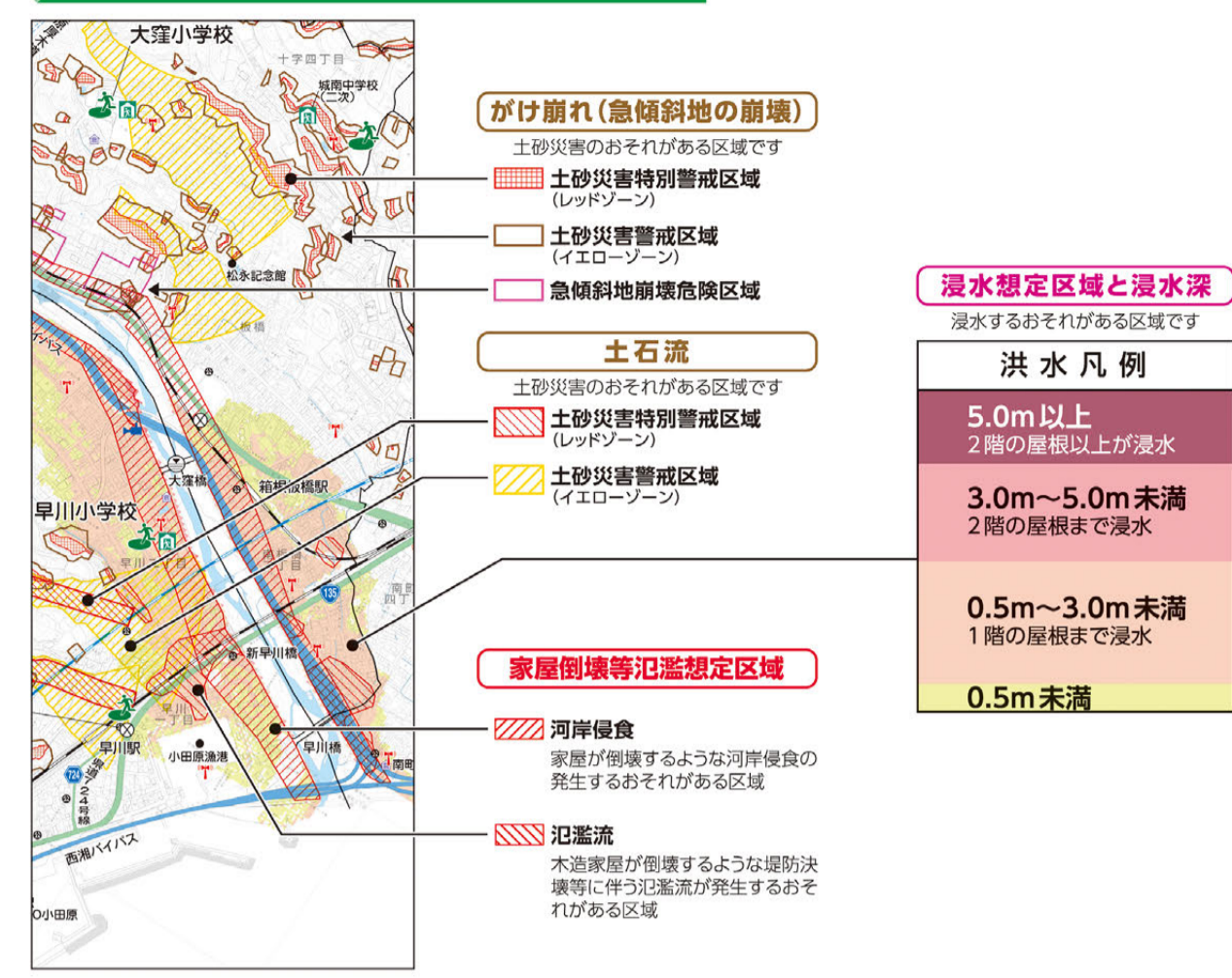


小田原市

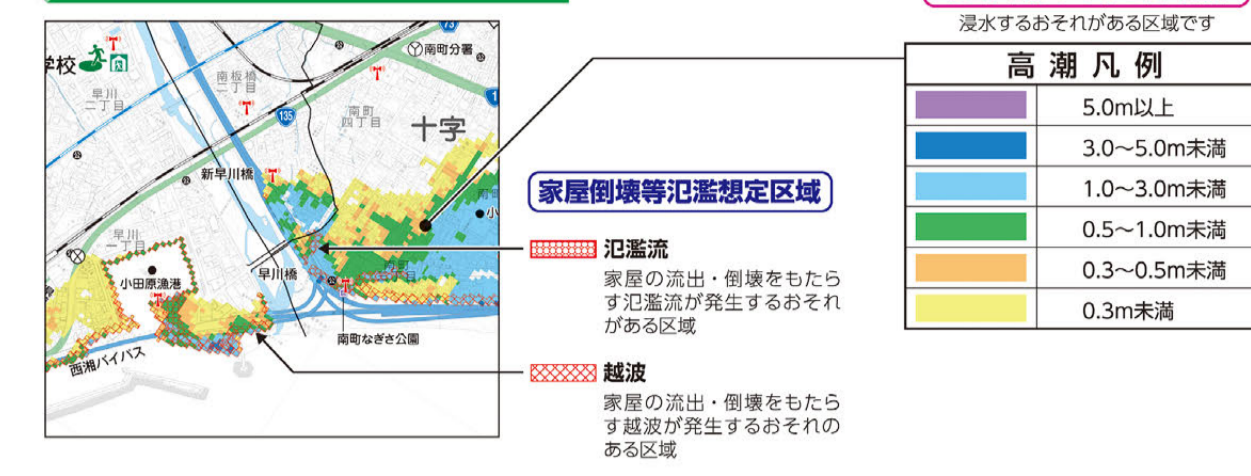
ハザードマップの使い方

- 居住地などのリスクを知る!**
自宅がある場所や周辺が、浸水想定区域や、土砂災害警戒区域に含まれるか、地図で確認しましょう。
- 命を守る避難行動を知る!**
災害の種類や住んでいる場所によって、とるべき行動は異なります。とるべき行動を知っておきましょう!
- 避難情報・気象情報を学ぶ!**
市が発する「避難情報」や気象庁等が発する「気象情報」などの種類を知り、その読み解き方を理解しましょう。
- マイタイムラインを作成する!**
「いつ」「何を」するのかを「わが家」の命を守る行動計画を考えよう!

洪水・土砂災害ハザードマップの見方



高潮ハザードマップの見方



災害時の情報入手方法

市では防災行政無線を始め、複数の手段を用いて、市民の皆様へ情報発信を行います。災害時は「自分の身は自分で守る」ことが大切です。市民の皆様へ、複数の手段を活用し、情報を入手していただきますようお願いいたします。

- テレホンサービス**
0120-244-400 (フリーダイヤル)
- 防災行政無線**
屋外スピーカーを通じて緊急情報をお知らせします。
- 防災メール**
事前に登録いただいた携帯電話へ、防災行政無線の放送内容を配信します。
- テレビ放送**
JCOM 湘南・神奈川のデジタル放送で地域の災害情報を流れます。
- FMおたから**
災害情報や防災行政無線の放送内容をFMおたからでお知らせします。
- 緊急避難メールなど**
避難情報の発令や緊急情報の高い情報を、市内に存在する携帯電話 (ドコモ、au、ソフトバンク、楽天) の対応機種のみ) に一斉送信します。
- Yahoo!防災情報**
事前に地域設定することでスマートフォンアプリ (Yahoo!防災情報) で、避難情報が配信されます。
- 広報車**
緊急時は、広報車で市内を巡回放送します。
- 市ホームページ**
災害情報や防災行政無線の放送内容を随時更新します。
- JCOM防災情報サービス**
室内に受信機を設置することで、防災行政無線の放送内容をスマートフォンで受信することができます。

避難の判断 —風水害編—

河川洪水

家屋倒壊等氾濫想定区域内か

はい → **立ち退き避難 (水平避難)**
避難場所の他、安全な親戚や知人の家、ホテル、旅館などに避難してください。

いいえ → 浸水想定区域内か

はい → 浸水想定区域の深さより高い階層に避難できるか

いいえ → **屋内安全確保 (垂直避難)**
自宅や施設などで上階への移動や高層階にとどまることにより、計画的に身の安全を確保してください。

万が一逃げ遅れてしまったら → **緊急安全確保 (行動)** 少しでも高い場所へ

土砂災害

土砂災害 (特別) 警戒区域内か

はい → **立ち退き避難 (水平避難)**
避難場所の他、安全な親戚や知人の家、ホテル、旅館などに避難してください。

いいえ → **屋内安全確保 (垂直避難)**
自宅や施設などで上階への移動や高層階にとどまることにより、計画的に身の安全を確保してください。

万が一逃げ遅れてしまったら → **緊急安全確保 (行動)** 少しでも高い場所へ

集中豪雨 (ゲリラ豪雨) による浸水

内水氾濫

河川の水を「外水」と呼ぶのに対し、堤防等で守られた内側の土地にある水のことを「内水」と呼びます。雨水は下水道等を通じて河川へ排水されますが、排水能力を超える大雨や河川等の水位が上昇して排水できない場合に、建物や土地、道路などが浸水することを「内水氾濫」といいます。

最近では、都市化が進むとともに、ゲリラ豪雨のような局地的な大雨が頻発し、内水氾濫による被害が増えています。

内水氾濫想定区域図

河川水位情報・警戒レベル・避難情報・気象情報・洪水予報

水位情報 (洪水予報)	警戒レベル	とるべき行動	市からの情報	気象庁等の情報
氾濫の発生 (氾濫発生情報)	5	命の危険 直ちに安全確保!	緊急安全確保	大雨 特別警報
堤防	4	危険な場所から 全員避難	避難指示	キキクル (危険度分布) 災害切迫
氾濫危険水位 (氾濫危険情報)	3	危険な場所から 高齢者等は避難	高齢者等避難	氾濫 発生情報
避難判断水位 (氾濫警戒情報)	2	自らの避難行動を確認		高潮 特別警報
氾濫注意水位 (氾濫注意情報)	1	災害への心構えを高める		大雨 警戒
防水団待機水位				洪水 注意情報
平常時の水位				高潮 注意報

マイ・タイムライン

「マイ・タイムライン」記入シート

「マイ・タイムライン」記入シートを使って、「いつ」「何を」するのか適切な避難行動を事前に整理しておきましょう!

低い	危険度	高い
今後気象状況悪化のおそれ	気象状況悪化	災害発生のおそれあり
警戒レベル 1	警戒レベル 2	警戒レベル 3 (危険な場所から高齢者等は避難!)
避難情報	早期注意情報	警戒レベル 3 相当情報
気象情報	大雨注意報 / 洪水注意報	警戒レベル 4 相当情報
わたしわが家の動き	避難準備	警戒レベル 5 相当情報
記入例	避難開始	緊急安全確保 (市が発令)
作成のポイント	いつ	何を

避難の判断 —地震編—

小田原市の津波災害の特徴

- 避難時間が短い!
- 避難距離が短い!
- 適切な避難をすれば命が助かる!

小田原市における津波避難の基本的考え方

地域住民との話し合いにより案出した「小田原市津波避難要領」を基本とし、少しでも多くの命が助かるよう、地域の特性や住民の考えを反映した避難要領を確立し、津波災害警戒区域内に在る地域住民だけでなく、通勤・通学者、観光客など避難対象地区にいるすべての人に幅広く周知・徹底する施策を展開します。

小田原方式津波避難要領

「揺れだ! 津波だ! すぐ避難!」をスローガンとして、今まで感じたことのないような強い揺れを感じた時は、津波警報等を待つことなく、動けるようになったら直ちに避難開始!

津波災害警戒区域内

- 動けるようになったら直ちに避難開始
- 津波災害警戒区域外に水平避難

津波災害警戒区域外

- 揺れが収まるまでシェイクアウトで身を守る
- 自治会ごとに定められた一時避難場所を安全確認

津波警報等解除後

自宅の状況

- 被害が大きく生活できない → 自宅へ帰宅
- 被害が小さく生活できる → 広域避難所 (指定避難所) へ避難

目頃の備え

地域の防災活動に参加しよう!

台風や地震時に地域住民の方の避難が必要となった場合には、自治会が主体となって避難所運営が行われます。また、自治会では、災害時に活動する自主防災組織を運営し、自治会長や防災リーダーを中心に、防災訓練や防災訓練の整備など、地域防災に大切な役割を担っています。

自助 (自分自分の身を守る) → 公助 (市や消防署など公的機関の手助け) → 互助・共助 (地域住民の方のお互い助け合い)

非常用持出品

非常用持出品は、避難の際に自分たちが必要な物資をまとめた場合に持ち出すよう、日持ちがする物に限り、リュックやバックパックなどで、持ち出しやすい場所におきましょう。

現金・通帳・印鑑	飲料水	持病薬
免許証・保険証	加熱しない食べられるもの	お薬手帳・処方箋の写し
懐中電灯・電池	液体ミルク・ミルク	おむつ
携帯電話・スマートフォン	乾パン	生理用品
モバイルバッテリー	缶詰	その他必要な物

防災 Q&A

小田原市の最新の避難場所等を教えてください。

最寄りの避難場所等は地図で確認した上で、市内全体の避難場所等はホームページをご確認ください。

避難場所等へは、車の避難が可能ですか?

原則、徒歩での避難をお願いします。なお、風水害時において徒歩が困難で車中避難される方やペットと車中避難する方を対象に次の施設を自家用車・車中一時避難施設として開設します。

避難場所等へはペットの避難が可能ですか?

ペットを受け入れることのできる避難場所等もあります。ただし、ケージなどが必要などの条件がありますので「避難所・避難場所におけるペットの受け入れガイドライン」をご確認ください。

車イスに対応する避難場所等がありますか?

風水害時において次の施設を「バリアフリー型避難場所」として開設します。身体的な理由で階段の昇り降りが難しい方と付き添いの方専用となりますので一般の方は利用できません。

川東タウンセンターマロニエ 中里273-6

おたから市民交流センターUMECO 栄町1-1-27

城北タウンセンターいずみ 飯田町382-2

気象情報や災害リスクを自分で確認する手段はありますか?

市ホームページで各種情報のリンクもまとめていますのでご利用ください。情報は常に最新のものを確認しましょう。